



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第266号

2016年5月9日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

八千代市の防災対策に不安の声が

熊本県の大地震は、いまだ余震が多発するなど終息する気配がありません。そうしたなか「八千代市の備蓄はどのくらいあるのか」「避難場所の耐震はどうか」「防災倉庫は市内のどこに設置されているの」など、市民の方々からの問い合わせが共産党市議団によせられています。みなさんから問い合わせを市の防災担当課である「総合防災課」に照会しました。八千代市の防災対策の一端をお知らせします。

非常用食料備蓄は13万8480食

現在、八千代市の非常用食料備蓄は13万8480食分です。このうち11万280食はサバイバルフーズ（チキンシチュー、クラッカー等）で防災倉庫に備蓄しています。2万750食はアルファ米で、市役所本庁舎と消防本部に備蓄されています。残りの7450食は要援護者用としてアルファ米おかゆが用意されています。

防災倉庫は市内の小・中学校34カ所に設置されています。倉庫の中には、非常食、毛布、災害用トイレ、給水袋などが備蓄されています。

避難場所の耐震診断・改修工事については、避難場所として指定されている小・中学校の校舎や体育館の耐震工事は終わっています。

なお、千代市の防災については、「八千代市ナビブック（市民便利帳）」やホームページで知ることができます。「ナビブック」は市役所、支所、公民館などに置いてあり、地図で避難場所などが示されていますのでお手元に置いてご活用ください。

八千代市ホームページは、「くらしの情報」から「防災」へと検索していくと「防災対策」「避難場所一覧」「防災倉庫の備蓄内容」などが掲載されています。



十分な備蓄、災害に強いまちづくりを

大地震は日本のどこで起きても不思議ではありません。そのためにも市民の安全を守る万全な防災対策が必要です。日本共産党八千代市議団は当面次の対策を求めます。

- 八千代市の非常食の備蓄量は、市民一人あたり一食にも相当しません。早急に備蓄量を増やすこと。
- 防災行政無線の整備を含め、消防職員の増員、消防水利の整備など、消防力を強化すること。
- ボランティアを含めた住民の知恵と力を取り入れ、地域防災計画を見直し、高齢者や障害者、住民の安全な避難など地域の防災対策を強化すること。
- 耐震診断と耐震補強を計画的にすすめるために大規模集客施設や病院等の設置者・開発者のとりくみを促すこと。

防災対策等について、みなさんのご要望、ご意見をおよせください。